

総合演習の目的

- ▶ これまでの授業や演習で学習した内容、修得した技術を総動員して、テーマを設定し、発表とレポート執筆を行う。

総合演習

グループ発表とレポートに向けて

大学図書館の活用と情報探索 第10回 2016年6月21日

第13-14回のグループ発表に向けて

- 「21世紀の重要な問題」に関して、グループでテーマを設定し、調査発表を行ってまいります。
- 発表は7/12と7/19です。出席できない日がある場合は、テーマ調査票に記入してください。
- 6/21から7/19までの5回は、連続した授業です。
- グループ発表に向け、前半3回はグループワークの時間を多く設けます。
- グループで集まる貴重な機会ですので、できるだけ欠席しないようにしてください。

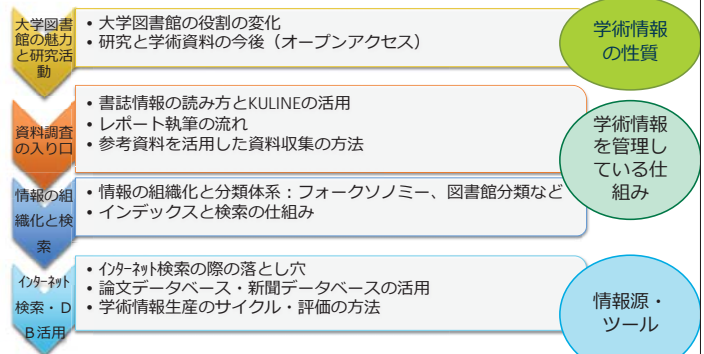
今後のスケジュール

日時・集合場所	内容
第10回：6/21(火) @メディアセンター303	①発表方法やレポートの書き方についての講義 ②課題・グループワークの説明 ③グループでテーマ設定 ④RefWorksの登録方法の説明
第11回：6/28(火) @メディアセンター303	①RefWorksの講義 ②課題の説明 ③グループで発表内容の掘り下げ ④各グループの発表予告(各1分)
第12回：7/5(火) @附属図書館 3F 共同研究室5他	①発表資料・最終レポート・アンケートの説明 ②グループで発表準備
第13-14回：7/12・7/19(火) @メディアセンター303	グループ発表

本日の予定

1. グループ発表・レポートに向けて
 - 発表・レポートのポイント
 - 引用・参考文献リストの作成
 - 著作権について
 - ブレインストーミングの重要性
2. 課題の説明
3. グループワーク

これまでの振り返り



グループ発表・ レポートのポイント

グループ発表の内容

1. 「21世紀の重要な問題」からグループで選んだ文献調査のテーマを提示・説明
2. テーマに関連した文献の内容を網羅的に収集し、選考研究における論点を整理
3. 2の内容を踏まえ、考察を行う

発表時間15分

全員参加

グループ発表の基本構成

1. はじめに（導入・定義など）
2. 先行研究レビュー
3. 考察
4. 参考文献リスト

発表内容のポイント1

1. 関連資料を十分に網羅し、読み込んでいるか？
2. 関連資料のポイントを的確にとらえているか、他の人に分かりやすく伝えられているか
3. 各グループならではの着眼点で、先行研究を考察できているか

発表内容のポイント2

1. 分かりやすい資料の作成
 - フォント：20PT以上 24PT 16PT
 - 図の利用
 - 目次の挿入
2. 魅力的なプレゼン
 - 導入
 - アイコンタクト
 - 声の大きさ

レポート執筆のポイント

1. グループ発表の内容にそって、各自が**自分の言葉**で2000字にまとめる
 2. 引用と文献リストの書式をきちっとおさえる
 - ⇒引用：文末註
 - 参考文献リスト：SIST_02 形式
- ☆ 科学技術情報流通技術基準 参照文献の書き方
http://sti.jst.go.jp/sist/handbook/sist02_2007/main.htm
 の「5. 資料種類別の記述例」を参照する
- ☆ 著者名の五十音順に作成、ウェブサイトは別項にまとめる

図・表の引用方法

(1) 現在のASEAN (2014年)

加盟国 (10カ国: ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム)			
面積	433万km ²	日本(36万km ²)の12倍	世界(1億2,974万km ²)の3.3%
人口	6億2,329万人	日本(1億2,713万人)の4.9倍	世界(72億6,065万人)の8.6%
GDP	2兆4,780億米ドル	日本(4兆6,015億米ドル)の53.9%	世界(77兆8,688億米ドル)の3.2%
1人当たりGDP	3,976米ドル	日本(36,194米ドル)の11.0%	世界平均(10,725米ドル)の37.1%
貿易(輸出+輸入)	2兆5,518億米ドル	日本(1兆5,024億米ドル)の1.7倍	世界(36兆6,819億米ドル)の7.0%

(出所) 面積、人口、GDP: World Bank, World Development Indicators database
貿易: IMF, Direction of Trade Statistics
(注) 1人当たりGDPは、名目GDPを人口で除して当該で試算

出典と加工方法を明記

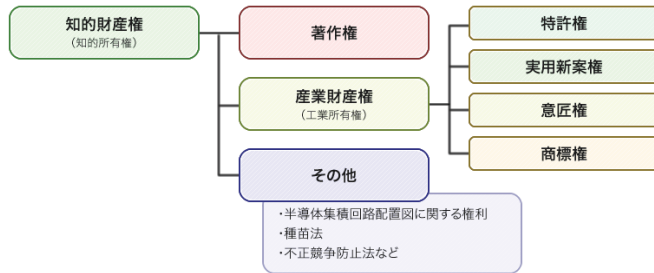
出典:「目で見るASEAN—ASEAN経済統計基礎資料—“外務省アジア大洋州局地域政策課. <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/asean/>, (accessed:2016-06-07)

「著作権」とは

「著作権」とは

- 「知的財産」のひとつ
- 文芸、学術、音楽、芸術など人間の思想や感情を表現したさまざまな「著作物」を対象としている
- 「著作物」は「著作権」によって原則として「著作者」の**死後50年間保護**される
- ただし、著作権の有無に関わらず、学術の世界では他者の文章や、図・表、アイデアを借用・参照する場合には、ルールにのっとって、明示する必要がある

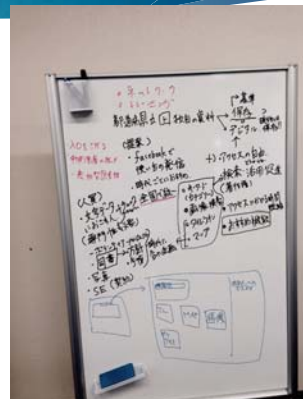
知的財産権



公益財団法人著作権情報センターHP.著作権って何?(はじめての著作権講座) <http://www.cric.or.jp/qa/hajime/>, (参照2016-06-16)

ブレインストーミングへ向けて!

ブレインストーミングが成功の鍵



基礎知識の確認 (百科事典)

JapanKnowledgeへのアクセス(1)

<http://kuline.kulib.kyoto-u.ac.jp/>

- ▶ KULINEの左側メニュー「図書・雑誌・論文を探す」→データベース (方法1) 「資料のタイプで探す」から「辞書・事典」→ JapanKnowledge Lib (方法2) Jをクリック → JapanKnowledge Lib

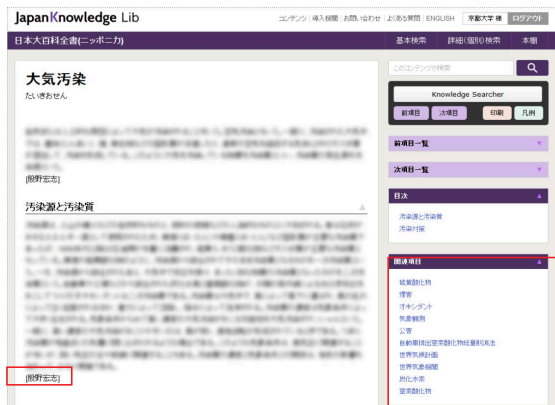


JapanKnowledge Lib トップページ



<https://japanknowledge.com/library/>

『日本大百科全書』における「大気汚染」の項目より



<https://japanknowledge.com/library/>

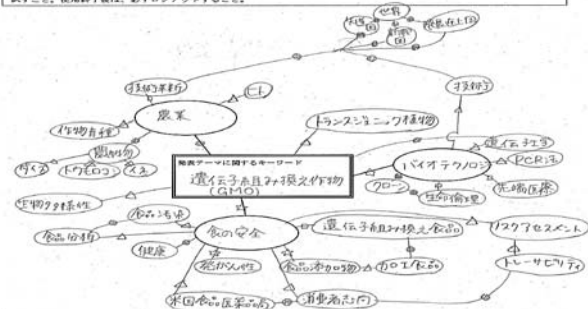
概念の整理と構造化

キーワードマップの作成

キーワードの抽出 (キーワードを緑の印をつけ、何を参考にしたのか記録しておくこと)

○: NDLサーチ △: JST シンクス (マップ) □: 新書マップ
 ×: JapanKnowledge Lib* ☆: Webeat Plus ●: 自分の意思
 ▲: ■: ★:

* JapanKnowledge Lib: 同時アクセス数制限あり。ログインできない場合は、しばらく時間をおいてから再度ログインを試すこと。使用終了後は、必ずログアウトすること。



NDLサーチの活用 (1) <http://iss.ndl.go.jp/>

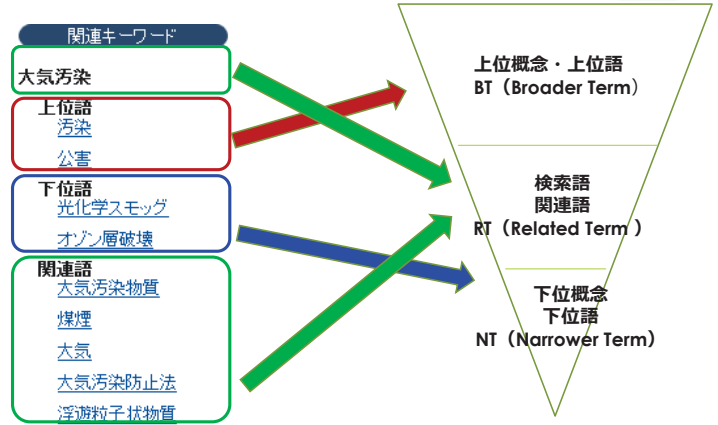
32



関連キーワードの階層構造

NDLサーチの活用 (2)

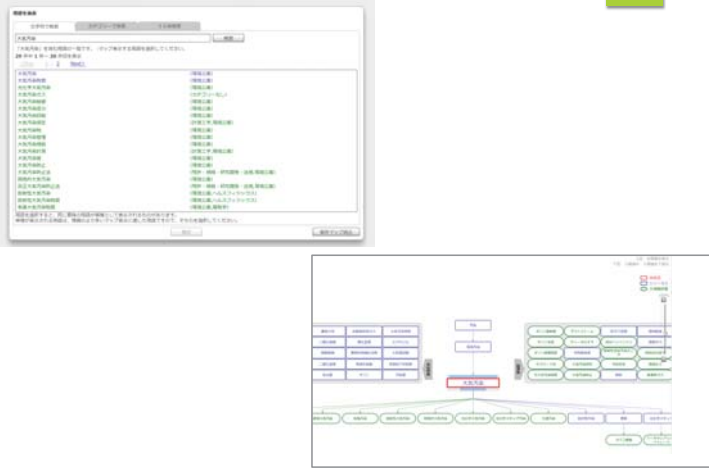
33



JST シソーラスマップの活用

<http://thesaurus-map.jst.go.jp/jsho/fullf/index.html>

33



Webcat Plus 連想検索の活用 (1)

<http://webcatplus.nii.ac.jp/>

34

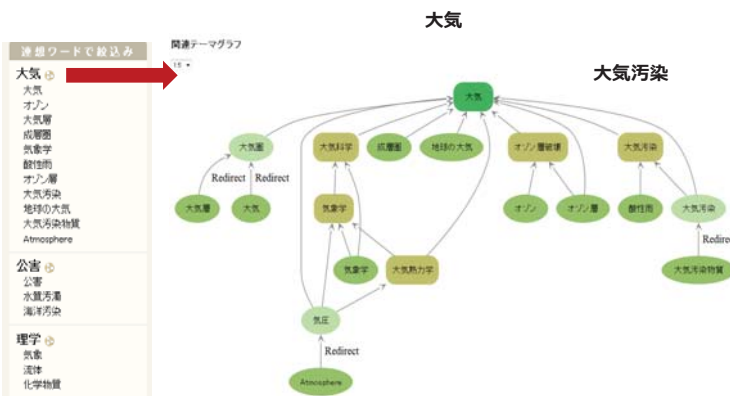


文献情報

関連キーワードの階層化

Webcat Plus 連想検索の活用 (2)

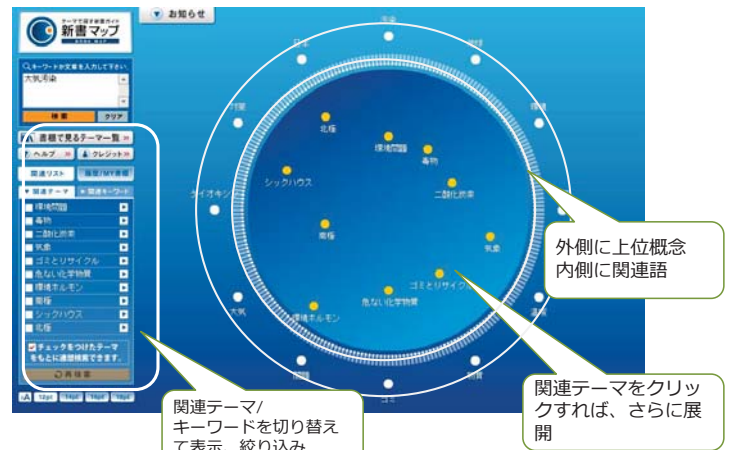
36



新書マップの活用 (1)

<http://shinshomap.info/search.php>

37



グループワーク・課題について

大学図書館の活用と
情報探索
第10回
2016/6/21 (火)

2

下記の通り、班に分かれて着席してください！

スクリーン

1班 2班 3班 4班 5班 6班 7班 8班

● グループワークの流れ

1. **【21世紀の重要な問題】**について、各班で発表テーマを決める
2. 氏名、班長、テーマなどをテーマ調査票に記入する
3. キーワードマップの中央のキーワードを決める
4. 時間があれば、キーワードマップの作成にとりかかる

3

発表テーマの設定

- ◆ テーマは漠然としすぎないように注意する
 - × 食の安全について
 - 遺伝子組み換え食品の安全評価と選択 (昨年度例)
- ◆ アプローチする分野や研究対象を具体的にする (昨年度例)
 - アメリカ優生学の歴史から現代の生殖医療の在り方を問う
 - 学力格差—現状と日本や海外での取り組みについて—

4

本日の課題について

【課題1】

下記のツールや自分の連想を利用して、**キーワードマップ**を作成しなさい。中央の四角には、グループで決めたテーマに関連するキーワードを記入しなさい。キーワードマップは次回授業 (6/28) で回収します。

- NDLサーチ
- JST シソーラス (マップ)
- 新書マップ
- JapanKnowledge Lib*
- WebCat Plus

*同時アクセス数制限あり

すべて授業ページにリンクがあります。
京都大学図書館機構 > 学習/研究サポート > 「大学図書館の活用と情報探索」 > (10-14回)総合演習 > 講義

5

キーワードマップとテーマ例

テーマ：遺伝子組み換え食品の安全評価と選択

キーワードの出典 (キーワードを緑が線に印をつけ、何を参考にしたのか記録しておくこと)

- ◎: NDLサーチ
- △: JST シソーラス (マップ)
- : 新書マップ
- ×: JapanKnowledge Lib*
- ☆: Webcat Plus
- : 自分の連想
- ▲: *
- : *

*JapanKnowledge Lib は同時アクセス数制限あり。ログインできない場合は、しばらく経過後に改めてログインを試すこと。使用終了後は、必ずログアウトすること。

6

本日の課題について

【課題2】

発表テーマに関連する図書3冊をKULINEで検索し、最も重要と思われる図書を1冊借りて、調査に必要な箇所を読みなさい。

【課題3】

発表テーマに関連する論文2点を論文データベースCiNii Articlesで検索し、通読しなさい。

【課題4】

発表テーマに関連する新聞記事1点を新聞データベース*から探して、通読しなさい。*一部同時アクセス数制限あり

グループワークに使用するため、借りた図書1冊、印刷した論文2点、印刷した新聞記事1点を次回授業 (6/28) に持参しなさい。

7



班で話し合い、
16:00までに
 発表テーマを設定してください。

テーマが決まった班はキーワードマップの作成をはじめてください。

RefWorksの登録方法について

文献管理ツールRefWorksの登録方法
アカウントの作成

1. 京都大学図書館機構サイトやKULINE等からアクセス
2. 「その他の資格情報を使用してログインする」> 「自分の機関の資格情報 (Shibboleth)」から「**Kyoto University**」を選択
3. **ECS-IDとパスワード**を入力して「ログイン」をクリック

文献管理ツールRefWorksの登録方法
アカウントの作成

お名前：
お名前をご記入下さい
 関連分野：
ご所属の学部等を選択
 ユーザタイプ：
「学部生」等を選択

4. メールアドレスを入力し、「次へ」をクリック
5. お名前等を入力し、「アカウント作成」をクリック

次回授業

- ◆日時：2016/6/28 (火) 4限
- ◆場所：メディアセンター303
- ◆内容：RefWorks講義+グループワーク+発表内容1分間予告
- ◆持ち物：課題のキーワードマップ、図書、論文、新聞

発表資料について

1.提出物：

発表用スライド

配布資料(スライドのプリントアウト以外の資料がある場合)

※参考文献リストを巻末に掲載すること

2.ファイル名：

○班_発表用スライド.pptx、○班_配布資料.docxなど

※複数ある場合は、発表用スライド(1)のように番号をつけること

3.提出方法：

PandAのリソース内の班フォルダにアップ

2

3

発表資料・最終レポート について

第12回
大学図書館の活用と
情報探索
2016/7/5

発表資料について (2)

4.提出期限：

第13回 (7/12) 発表のチーム

7/11 (月) 正午まで

第14回 (7/19) 発表のチーム

7/18 (月) 正午まで

4

発表資料について

提出方法

5

参考文献リストの作成 (1)

1. レコードを選択 or 参考文献リストを作成するフォルダを表示
2. をクリック
3. 「出力フォーマット」を選択
4. File Type(ファイル形式)を選択
- 5.

メニューバー[参考文献]→[出力フォーマットの編集]で
レコードタイプや出力項目、順番などを変えることができます。

6

参考文献リストの作成 (2)

7

最終レポートについて

1. レポート内容

総合演習での発表内容を、各自で*2000字以上のレポートにまとめよ。これまでの授業中に示された、引用の作法や論文の形式に注意して書くこと。*参考文献および注は含めない

2. ファイル名

[最終レポート]〇班_学籍番号_氏名.docx

3. 提出方法

PandAの「課題」ツール(この後のスライドで説明)

4. 提出期限

8/2 (火) 24:00

8

9

最終レポート
アンケート

アンケートについて

1. 注意点

PandAの「課題」ツールにある【ひな形】をダウンロードして答えること。フォローアップアンケートのためメールアドレスを記入してください。

2. ファイル名

[アンケート].docx

3. 提出方法

PandAの「課題」ツール

4. 提出期限

8/2 (火) 24:00

10

最終レポート・アンケートの
提出方法

PandAの「課題」ツールを利用して提出



11

最終レポート・アンケートの
提出方法

PandAの「課題」ツールを利用して提出

課題内容

1,2とも提出期限は2016/8/2(火)24:00です。
期限は厳守してください。

注意!!
最終レポート・アンケート両方を添付してください

1.総合演習の発表内容を、各自で2000字以上のレポートにまとめてください。
*Wordで作成し、ファイル名は「最終レポート」班_学籍番号_氏名.docxとすること。
*本課題ページに提出すること。
*他の受講生からの発表詳細シート、授業中の質疑応答を踏まえてまとめること。
*授業中に示された引用の作法等、論文の形式に則って書くこと。
*文字数に参考文献および注は含めません。

2.授業アンケートにお答えください。
*発行が20160802_hinagata.docxをダウンロードし、記入すること。
*ファイル名は「アンケート」.docxとすること。
*本課題ページに提出すること。
*毎年度にフォローアップアンケートを送行するため、メールアドレスも記入すること。

次の課題の追加リソース:
20160802_hinagata.docx (40 KB, 2016/8/2 11:25)

提出
この課題は添付ファイルによる提出が可能です。

添付
添付はありません。

添付するファイルを選択します。添付するファイルが選択されています。

提出をクリック

提出

12

最終レポート・アンケートに
ついて

課題の受取完了後、「返却済」「チェックマーク付」

提出後、一週間たっても「返却済み」「チェックマーク付」になっていなければ、
ensyu660@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
にお問合せください。

13

下記の通り、班に分かれて着席してください！

スクリーン



- 授業が始まるまでに
- 1. パソコンを起動してください
- 2. Refworksのアカウント登録が済んでいない方は、補助者にお申し出ください

RefWorksの使い方

大学図書館の活用と
情報探索
第11回
2016/6/28 (火)

2

はじめに

- 論文・レポート等には、一定の記述方法で引用/参考文献を掲載

例：「SIST 02 参考文献の書き方科学技術情報流通技術基準」の場合
 稲垣 恭子, 財界人・文化人の「師弟関係」- 『私の履歴書』の分析から-
著者名 論文タイトル
 京都大学大学院教育学研究科紀要, 2013, vol. 59, p. 1-23.
雑誌タイトル 出版年 巻 ページ数

- なぜ引用文献/参考文献が必要か？
- 自身の論文の新規性、独創性、信頼性の明確化 自分と他人の意見を区別 / 論拠を明示
- 先行する著者に対する敬意 研究成果は、先行研究の上に発展させたもの
- 出典の明示
- 読者に対する情報提供 「参考文献の役割と書き方」 http://stf.jst.go.jp/sist/pdf/SIST_booklet2011.pdf (p.4)

3

文献管理ツールとは

- 論文執筆等に必要の文献の情報を蓄積・管理
- 参考文献リストを簡単に作成

日頃の文献収集で！

論文執筆時に！

RefWorksは…

- ウェブ上で使える文献管理ツール
- 利用には、ユーザ登録が必要
- 他の研究者/学生との**情報共有や公開**も可能

4

RefWorks活用の 3 Steps



5

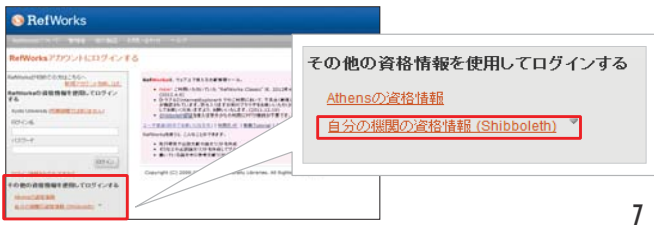
RefWorks へログイン ①

1. KULINE → 文献管理(Ref Works)

6

RefWorksへログイン ②

2. 「自分の機関の資格情報(Shibboleth)」から「Kyoto University」を選択
3. ECS-IDとパスワードを入力してログイン



7

1. RefWorksに取り込む

8

課題 5

KULINEから取り込む(1)

- a. 検索結果一覧画面でインポートしたい資料に☑をつけ「文献管理」ボタンをクリックしRefWorksを選択



9

課題 5

KULINEから取り込む(2)

- b. 書誌詳細画面で「文献管理」をクリックしRefWorksを選択



10

課題 7

CiNii Articles から取り込む (1)

- 複数のレコードをインポートするときは…

1. インポートしたい資料を☑
2. 「RefWorksに書き出し」
3. 「実行」をクリック



11

課題 7

CiNii Articlesから取り込む (2)

- 1件ずつインポートするときは…

- ・ 詳細ページからRefWorksに書き出し



12

京大Article Linkerから取り込む

「京大ArticleLinker」をクリックし、Optionの「RefWorks データ取り込み」から取り込むこともできる。

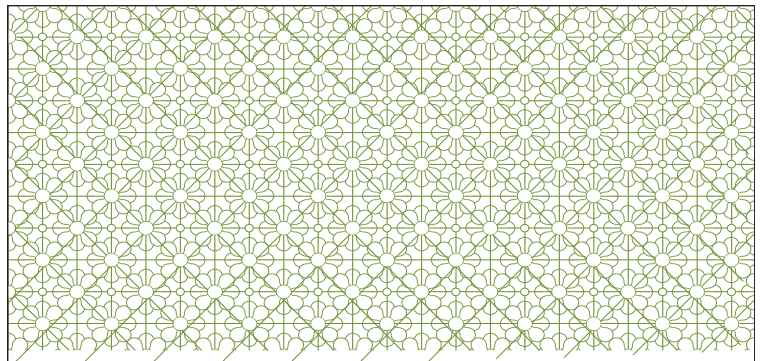


RefWorksにデータを作成する(1)



「レコードの作成」をクリック

RefWorksにデータを作成する(2)



2. フォルダ整理とレコード編集

フォルダの整理




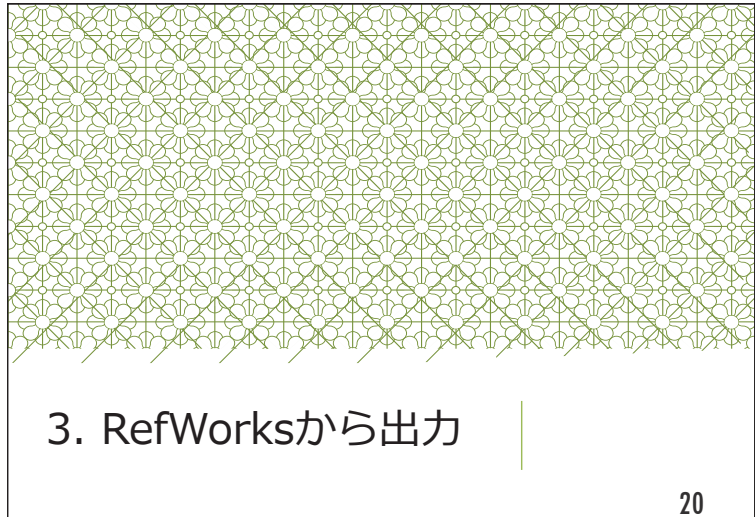
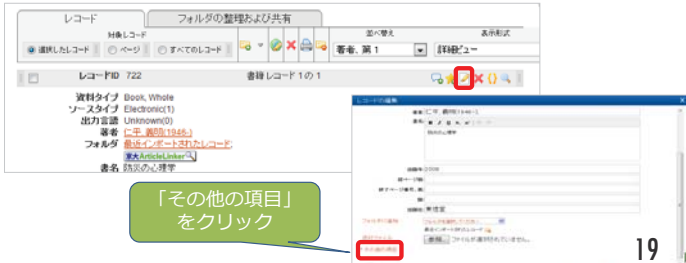
フォルダフラグの付与

1. レコード一覧で、フォルダに追加するレコードに☑
2. 📁 をクリックし、追加先のフォルダを選択




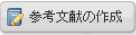
レコードの編集

1. レコードタブの各レコードの  をクリック
2. 「レコードの編集」画面で「その他の項目」を開けば、コメントや他の項目を設定できる



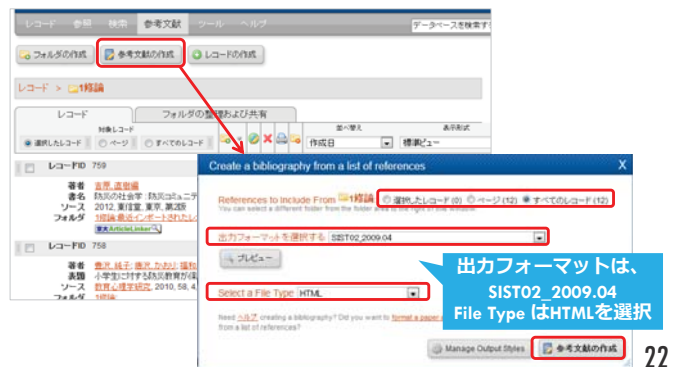
3. RefWorksから出力

参考文献リストの作成 (1)

1. レコードを選択 or 参考文献リストを作成するフォルダを表示
2.  をクリック
3. 「出力フォーマット」を選択
4. ファイル形式を選択
5.  をクリック

メニューバー[参考文献]→[出力フォーマットの編集]でレコードタイプや出力項目、順番などを変えることができます。

参考文献リストの作成 (2)



参考文献リストは著者の名前順

著者の姓の順番で並べる

- 日本語文献：名字のあいうえお順
- 外国語文献：Family name のA to Z 順
- 同じ名字(Family name)であれば、名前(First name)の順
- 同じ著者の複数の文献は、発行年が古い順



ただしRefWorksは、英語文献の並び替えしかできないので、日本語文献については自分で並び替える。

Webページを参考文献にする場合

例：

科学技術・学術政策局人材政策課."「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」に係る質問と回答 (FAQ)". 文部科学省. 2015-03. http://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/fusei/1352820.htm, (accessed 2016-06-01).

著者名. "Webページ名". Webサイト名. 更新日付. 入手先, (入手日付).

※注意： WebページのレコードをRefWorks 内に作成しても、SIST02のフォーマットで上手く出力できないので、適宜整形する。

RefShareで共有する (1)

ゼミや研究グループの課題・必読文献リストや自分の業績リスト公開として活用できる。

RefWorksを契約していない人でもアクセスできるURLを生成

4. RefShareで共有

RefShareで共有する (2)

[フォルダの整理および共有]タブ

共有化アイコン

共有 キャンセル

RefShareで共有する (3)

URL

RefShareで共有する (共有したものをみる)

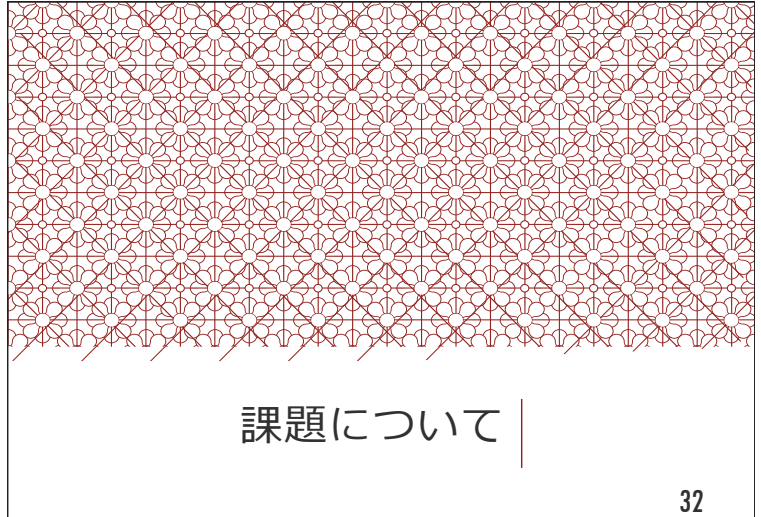
「詳細ビュー」にするとコメントが読めます

5. その他

操作に困ったら...



さらに詳しい使い方は・・・
 RefWorks ユーザーガイド(学内限定)
http://www.sunmedia.co.jp/e-port/refworks/pdf/userguide-rwrs20_customize.pdf



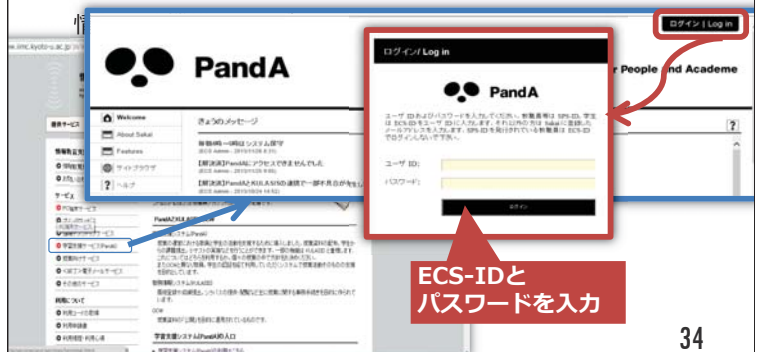
課題について

提出期限：7月5日（火）14:00まで

課題5～11

1. RefWorksにインポート、コメントを記入
2. RefShareで公開URLを作成
3. PandAに公開URLを掲載する

PandA | ログイン



PandA | コースサイト



課題 11

PandA | リソースにアップロード1



PandA | リソースにアップロード2

大学図書館の活用と情報探索 <2016前期火>:リソース

ウェブリンク (URL) を追加
 任意数のウェブリンク (URL) を追加します。ウェブリンクのタブを登録することによって変更する場合は、横の X アイコンをクリックします。完了したら、ウェブリンクをタブで追加することができます。

備考: 大学図書館の活用と情報探索 <2016前期火>/総合演習1班/

ウェブリンク (URL)

ウェブサイト名 このアイテムの詳細を追加

他のウェブリンクを追加

電子メール通知

ウェブリンクをタブで追加

**ウェブアドレス (URL) : RefShareのURL
 ウェブサイト名 : [RefShare]学籍番号_氏名**

37

今日のこの後の予定

15:15 - 15:50 グループワーク

15:50までにスライドを1枚作って、USBに保存してください

<スライドの作り方>

画面左下Windowsボタン>すべてのプログラム>MicrosoftOffice>Microsoft PowerPoint

15:50 - 16:15 各班1分間発表

作ったスライドを前の画面に表示します

38

スライド例

テーマ【都市と地方の雇用格差について】

- ・地方は大都市圏と比べての雇用の場が少ない
- ・雇用機会を増やす地方の取り組みを調査する
- ・例：観光資源を活かした〇〇市の取り組み

次回予告

日時：2016年7月5日（火）4限

場所：共同研究室 5 (附属図書館 3F)

内容：最終課題・アンケートの説明
 グループで発表準備

持ち物：必要な場合は各班ノートPC1台